

報道関係各位

バードウォッチングウィーク！ (*11月1日～7日) 身近な水鳥を eBird に投稿しよう

(公財)日本野鳥の会(事務局:東京、会長:上田恵介、会員・サポーター数:約5万人)は、バードウォッチングウィーク(11月1日(水)～7日(火))に、より多くの方が野鳥観察を楽しみ、世界規模の市民科学プロジェクト「eBird」に観察情報を寄せていただけるよう、キャンペーン「バードウォッチングウィーク！ 身近な水鳥を eBird に投稿しよう」を実施します。観察対象種を見た方、期間中毎日投稿した方には、記念品をプレゼントします(該当者多数の場合は抽選)。



■eBird について

eBird (イーバード) は、米国・コーネル大学鳥類学研究室 (Cornell Lab of Ornithology) が運営する世界最大の野鳥観察データベースであり、市民科学 (市民と科学者が協働する科学研究) プロジェクトです。eBird には世界中のバードウォッチャーから 10 億件を超える野鳥観察情報が寄せられ、蓄積されたデータは鳥類の調査研究や保全活動に活用されています。日本野鳥の会はコーネル大学鳥類学研究室と協働で、その日本語のポータルサイト「eBird Japan」を運営しています。

eBird では、自分のバードウォッチングの記録をスマートフォンや PC から投稿して、データベースに保存することが (アーカイブ) できます。また、さまざまな検索機能で、見たい鳥の写真や音声、どこに行けば見られるか、人気のバードウォッチングスポットなどを調べることができます。eBird を利用すれば、スマートフォンひとつが、フィールドノートにも、図鑑にも、探鳥地ガイドにもなります。

■11月1日～7日はバードウォッチングウィーク。eBird で野鳥観察を楽しもう！

11月1～7日はバードウォッチングウィークです。秋から冬にかけては木々の葉が落ち、鳥の姿を見つけやすくなります。ガン・カモ類など比較的大型の水鳥も渡ってくるので、バードウォッチングを始めるのに最適です。公園の池や近くの川など、身近な水辺で見られる鳥を観察して、eBird に投稿してみましょう。観察対象種の水鳥 3 種 (ヒドリガモ、マガモ、オオバン) をすべて見た方、7日間毎日投稿した方には、素敵なプレゼントも！

「eBird を使ってみたけれど、見た鳥の名前がわからない」という方には、eBird と連動して AI が識別を

サポートするアプリ「Merlin」がおすすめです。キャンペーンに合わせて、アプリ「Merlin」の使い方を紹介するオンラインセミナーや、野外で eBird への投稿方法を解説する講座も開催します。

【キャンペーン「バードウォッチングウィーク！身近な水鳥を eBird に投稿しよう」の概要】

●期間：2023 年 11 月 1 日（水）～7 日（火）（バードウォッチングウィーク）

●参加方法：期間中いつでも、好きな時間にバードウォッチングをして、見た鳥をアプリ「eBird モバイル」またはポータルサイト「eBird Japan <https://ebird.org/japan/home>」から投稿してください。

※eBird に投稿するには、アカウントが必要です。

アカウント作成方法：https://ebird.org/japan/news/creating_account

※初めて使う方は「eBird/Merlin 設定と基本操作ガイド」をご覧ください。

eBird/Merlin 設定と基本操作ガイド：https://www.wbsj.org/nature/ebird/ebird_setting_guide.pdf

●投稿方法：スマホアプリ「eBird モバイル」または、eBird Japan ウェブサイトから投稿できます。

投稿方法は、以下をご覧ください。

eBird モバイルからの投稿方法：<https://ebird.org/japan/about/how-to-mobile>

eBird Japan ウェブサイトからの投稿方法 <https://ebird.org/japan/about/how-to-web>

●参加賞：期間中にチェックリストを投稿された方のうち、

①サントリー特別賞：観察対象種（水鳥 3 種：ヒドリガモ、マガモ、オオバン）をすべて見た方 10 人（該当者多数の場合は抽選）に、サントリーホールディングス株式会社提供の「ステンレス製真空タンブラー『クマタカ』（藪内正幸イラスト）」をさしあげます。

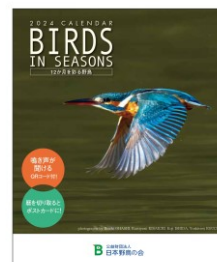


協力：藪内正幸美術館

＜観察対象種－水鳥 3 種－＞



②日本野鳥の会賞：7日間毎日チェックリストを投稿した方10人（該当者多数の場合は抽選）に、日本野鳥の会オリジナルグッズ「卓上カレンダーと今治タオルハンカチ・カワセミ」をさしあげます。



【講座(オンライン/対面)のご案内】

①オンライン講座「AIと野鳥識別対決-Merlinに挑戦！」

- 日時：2023年10月26日（木） 19：00-20：00
- 内容：「Merlin」は、世界最大の野鳥観察データベース eBirdと連動して、野鳥の識別をサポートするアプリです。このウェビナーでは、Merlin (AI) とバードウォッチャー（日本野鳥の会：奴賀俊光）の識別クイズ対決を通じて、野鳥を識別するポイントと、アプリ「Merlin 野鳥識別」をうまく活用するコツをご紹介します。識別クイズには、視聴者の皆さまもご参加いただけます。
- 方法：Zoom ウェビナー（定員 300 名、先着順）
- 参加費：無料
- 詳細・お申込みはこちら
<https://www.wbsj.org/activity/event/seminar-merlin-20231026/>

②対面講座「eBird 野外体験講座」

- 日時：2023年11月5日（日） 10：00-12：00 雨天決行
- 場所：手賀沼親水広場・水の館3階研修室と周辺
- 内容：野鳥を観察し、モバイルアプリから eBird に投稿するまでの手順を、フィールドで体験します。11月4~5日に開催されるジャパン・バードフェスティバル会場での講座となります。
- 定員：20名（先着順）
- 講師：日本野鳥の会スタッフ
- 参加費：無料
- 詳細・お申し込みはこちら：<https://www.wbsj.org/activity/event/seminar-ebird-20231105/>

■eBird とは

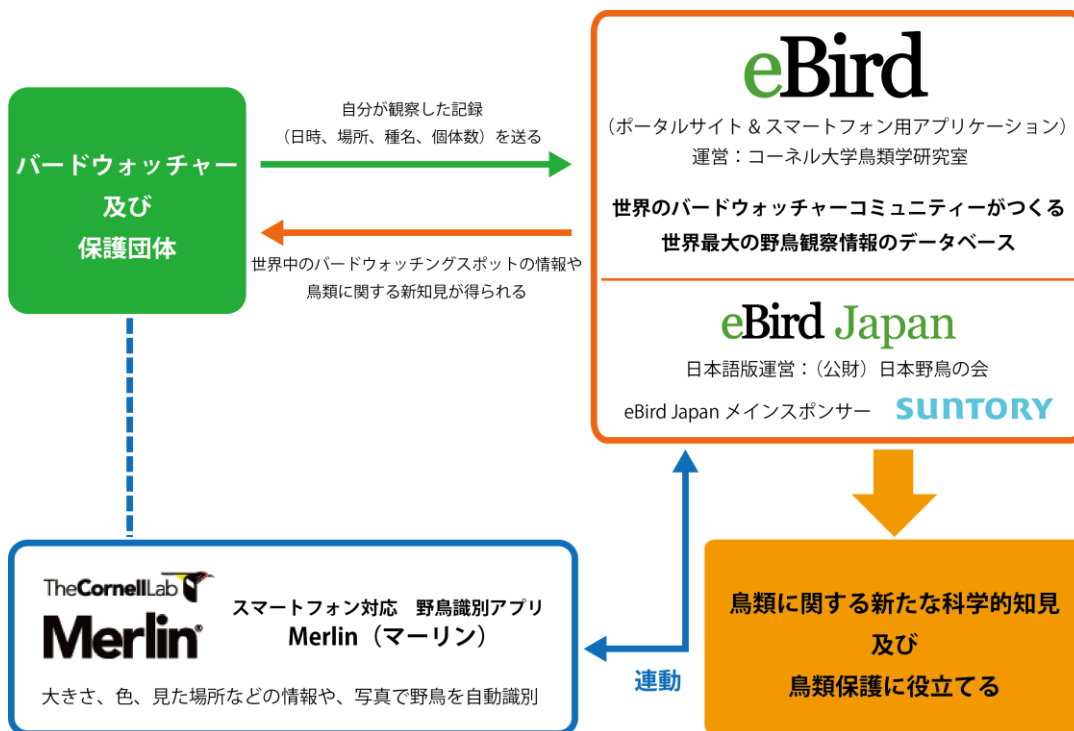
●世界規模の市民科学プロジェクト

eBird は、米国・コーネル大学鳥類学研究室が運営する、世界的な科学研究プロジェクトであり、誰でも参加できる市民科学プロジェクトです。世界中のバードウォッチャーの野鳥観察記録をオンラインで共有し、鳥類の研究や保護に役立てることを目的に、2002年に開発されました。2023年10月1日現在、eBirdの利用者は世界で90万人、国内で5600人を超え、日々増え続けています。

●ポータルサイト eBird Japan 公開により、日本語で利用可能に

eBirdは、コーネル大学鳥類学研究室と、世界中のパートナー団体、何千人もの地域の専門家、何十万ものユーザーの協働で運営されています。2021年11月にコーネル大学鳥類学研究室と（公財）日本野鳥の会によりポータルサイト「eBird Japan」が公開され、eBirdへの投稿や検索、関連するアプリが日本語で利用できるようになりました。「eBird Japan」は、現在、サントリーホールディングス株式会社（メインスポンサー）と、カールツァイス株式会社（協賛）のご支援を得て、（公財）日本野鳥の会が運営しています。

eBirdは多言語に対応しており、世界中で利用できます。また、eBirdに蓄積されたデータは、調査研究や教育活動、自然保護活動など非営利目的であれば、誰でも自由に利用できます。



■日本野鳥の会 組織概要

組織名：公益財団法人 日本野鳥の会（会員・サポーター 約5万人）

代表者：理事長 遠藤孝一

所在地：〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

URL：<https://www.wbsj.org/>

■本件に関するお問い合わせ先

（公財）日本野鳥の会

〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

担当：自然保護室 葉山政治／岡本裕子

電話：03-5436-2633 E-mail：ebirdjapan@wbsj.org